



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 仙波糖化工業株式会社

コード番号 2916 URL <https://www.sembatohka.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）小林 光夫

問合せ先責任者（役職名）取締役財務本部長兼 営業管理本部長（氏名）田中 明子 TEL 0285-82-2171

半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	9,257	△2.0	299	15.3	405	4.9	261	△13.9
2024年3月期中間期	9,442	1.8	259	10.9	386	△7.6	303	△15.5

（注）包括利益 2025年3月期中間期 249百万円（△53.3%） 2024年3月期中間期 534百万円（△37.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	22.98	—
2024年3月期中間期	26.70	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	20,217	11,945	59.0
2024年3月期	23,006	12,716	51.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 11,929百万円 2024年3月期 11,897百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	0.3	880	27.4	900	19.2	650	31.2	57.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 福建龍和食品実業有限公司

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	11,400,000株	2024年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	16,384株	2024年3月期	16,384株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	11,383,616株	2024年3月期中間期	11,383,682株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢、中東情勢をはじめとした様々な要因から、原油価格や原材料価格が高止まりし、円安も継続しており、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、外食需要の回復が追い風となっているものの、物価上昇に伴い家計面では節約志向が継続しており、厳しい経営環境にあります。

このような状況下、当社グループは、全社を挙げて顧客ニーズに合わせた新商材の開発強化や値上げ対応を進める一方で、海外市場取り込みに注力してまいりました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は92億57百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

製品の種別別売上高では、カaramel製品は、鶏卵不足解消に伴う食品向け需要の回復に加え、新製品拡販効果もあり、22億22百万円(前年同期比8.0%増)となりました。乾燥製品類は、粉末茶や即席麺向け商材の受注が回復し、33億69百万円(前年同期比15.7%増)となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品の受注が大幅に減少し、15億2百万円(前年同期比17.4%減)となりました。冷凍製品は、福建龍和食品実業有限公司を連結の範囲から除外したことにより、16億32百万円(前年同期比21.9%減)となりました。その他は、子会社の受託加工売上高がやや減少し、5億29百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

利益面につきましては、プロダクトミックスの改善や値上げの浸透により、営業利益は2億99百万円(前年同期比15.3%増)、経常利益は4億5百万円(前年同期比4.9%増)となりました。また、特別損失に係る会社出資金売却損を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は2億61百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、107億86百万円(前連結会計年度末は118億47百万円)となり10億61百万円減少しました。その主なものは、現金及び預金の減少(4億56百万円)、受取手形及び売掛金の減少(3億72百万円)であります。

##### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、94億31百万円(前連結会計年度末は111億58百万円)となり17億27百万円減少しました。その主なものは、建物及び構築物(純額)の減少(17億70百万円)であります。

##### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、62億19百万円(前連結会計年度末は78億18百万円)となり15億99百万円減少しました。その主なものは、短期借入金の減少(9億10百万円)、支払手形及び買掛金の減少(4億86百万円)であります。

##### (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、20億53百万円(前連結会計年度末は24億70百万円)となり4億17百万円減少しました。その主なものは、繰延税金負債の減少(3億30百万円)、長期借入金の減少(1億3百万円)であります。

##### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、119億45百万円(前連結会計年度末は127億16百万円)となり7億71百万円減少しました。その主なものは、非支配株主持分の減少(8億3百万円)であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して4億56百万円減少し、29億77百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2億93百万円(前年同期は4億66百万円の獲得)となりました。

これは、売上債権の減少額4億44百万円、減価償却費4億16百万円、仕入債務の減少額5億36百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億58百万円(前年同期は2億84百万円の使用)となりました。

これは、連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出5億52百万円、有形固定資産の取得による支出1億42百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億46百万円(前年同期は3億96百万円の使用)となりました。

これは、配当金の支払額1億70百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2024年5月10日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想は、本日(2024年11月8日)発表のとおり修正を行っております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,449,207	2,992,839
受取手形及び売掛金	4,535,824	4,163,009
電子記録債権	59,162	20,196
商品及び製品	1,944,184	2,129,237
仕掛品	532,857	503,584
原材料及び貯蔵品	957,683	798,609
その他	371,158	180,984
貸倒引当金	△2,417	△1,876
流動資産合計	11,847,662	10,786,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,390,229	2,619,286
機械装置及び運搬具(純額)	1,979,107	1,796,465
その他(純額)	744,197	767,639
有形固定資産合計	7,113,534	5,183,391
無形固定資産	729,973	563,355
投資その他の資産		
投資有価証券	3,001,587	2,920,970
繰延税金資産	234,508	253,414
その他	78,884	510,071
投資その他の資産合計	3,314,980	3,684,456
固定資産合計	11,158,488	9,431,203
資産合計	23,006,150	20,217,788

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,340,771	1,853,932
電子記録債務	64,809	57,537
短期借入金	3,809,059	2,898,639
未払法人税等	195,401	173,106
賞与引当金	337,733	346,014
役員賞与引当金	36,040	—
その他	1,035,182	890,075
流動負債合計	7,818,997	6,219,305
固定負債		
長期借入金	571,854	468,107
退職給付に係る負債	1,316,022	1,345,235
繰延税金負債	434,873	104,092
資産除去債務	49,016	49,022
その他	98,810	86,571
固定負債合計	2,470,578	2,053,029
負債合計	10,289,576	8,272,334
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	7,220,075	7,310,971
自己株式	△5,300	△5,300
株主資本合計	9,918,384	10,009,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,734,558	1,689,744
為替換算調整勘定	277,641	260,913
退職給付に係る調整累計額	△33,290	△30,633
その他の包括利益累計額合計	1,978,908	1,920,023
非支配株主持分	819,281	16,149
純資産合計	12,716,574	11,945,454
負債純資産合計	23,006,150	20,217,788

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,442,830	9,257,127
売上原価	7,488,353	7,235,933
売上総利益	1,954,477	2,021,193
販売費及び一般管理費	1,694,904	1,721,848
営業利益	259,572	299,344
営業外収益		
受取利息	739	2,922
受取配当金	22,400	36,375
為替差益	123,284	99,883
補助金収入	9,628	2,709
その他	11,515	16,726
営業外収益合計	167,568	158,616
営業外費用		
支払利息	33,509	24,232
持分法による投資損失	—	8,860
その他	7,510	19,814
営業外費用合計	41,020	52,907
経常利益	386,121	405,053
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23,285
特別利益合計	—	23,285
特別損失		
投資有価証券売却損	—	428
関係会社出資金売却損	—	16,642
特別損失合計	—	17,071
税金等調整前中間純利益	386,121	411,267
法人税、住民税及び事業税	86,671	154,108
法人税等調整額	△33,621	△13,582
法人税等合計	53,050	140,525
中間純利益	333,070	270,741
非支配株主に帰属する中間純利益	29,171	9,091
親会社株主に帰属する中間純利益	303,899	261,650

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	333,070	270,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,216	△44,813
為替換算調整勘定	98,399	△3,183
退職給付に係る調整額	2,739	2,657
持分法適用会社に対する持分相当額	—	24,240
その他の包括利益合計	201,355	△21,099
中間包括利益	534,425	249,642
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	469,142	202,765
非支配株主に係る中間包括利益	65,283	46,877

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	386,121	411,267
減価償却費	451,507	416,548
貸倒引当金の増減額(△は減少)	51	572
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,107	8,281
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,950	△36,040
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49,336	33,033
受取利息及び受取配当金	△23,140	△39,297
支払利息	33,509	24,232
為替差損益(△は益)	△6,594	779
固定資産除却損	4,492	8,823
持分法による投資損益(△は益)	—	8,860
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△22,856
関係会社出資金売却損益(△は益)	—	16,642
売上債権の増減額(△は増加)	△338,354	444,480
棚卸資産の増減額(△は増加)	290,933	61,914
その他の流動資産の増減額(△は増加)	23,246	△5,529
仕入債務の増減額(△は減少)	△234,548	△536,372
その他の流動負債の増減額(△は減少)	31,076	△213,367
その他	△119,882	△129,611
小計	531,696	452,362
利息及び配当金の受取額	23,144	39,300
利息の支払額	△34,743	△24,869
法人税等の還付額	—	3,149
法人税等の支払額	△53,643	△175,950
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,453	293,991

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△280,177	△142,744
無形固定資産の取得による支出	△2,848	—
投資有価証券の取得による支出	△4,907	△5,998
投資有価証券の売却による収入	—	44,865
有形固定資産の除却による支出	△3,283	△5,507
貸付けによる支出	△500	△2,000
貸付金の回収による収入	7,363	6,263
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出	—	△552,555
その他の支出	△66	△692
その他の収入	—	307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,418	△658,063
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△191,116	206,300
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△167,375	△160,138
リース債務の返済による支出	△20,742	△21,970
自己株式の取得による支出	△125	—
配当金の支払額	△167,331	△170,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396,690	△146,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,723	53,990
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△181,932	△456,368
現金及び現金同等物の期首残高	3,167,025	3,434,207
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,985,093	2,977,839

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。